

オーグス総研、ISO20022 に準拠した外国送金に対応

株式会社オーグス総研（本社：大阪市西区、代表取締役社長：吉村和彦、以下 オーグス総研）は、EDI サービスの eCubenet「データ伝送サービス」に外国送金オプションを追加し、国際標準規格 ISO20022 に準拠した外国送金対応を 2025 年度第一四半期に提供開始する予定です。

外国送金オプションでは、ISO20022 に準拠したフォーマット、および伝送方式（JX 手順）に対応した外国送金が可能になります。

SWIFT（国際銀行間金融通信協会）は外国送金に使用する電文につき、既存のフォーマット（固定長）から世界的に導入が進む国際標準規格 ISO20022 に準拠したフォーマット（XML 形式）への移行を 2023 年 3 月より開始し、2025 年 11 月には完全移行することを公表しました。

そのため、SWIFT 経由で外国送金を行っている企業は、2025 年 11 月までに ISO20022 対応のフォーマット（XML 形式）への移行が必要になります。また、伝送時の手順も固定長ファイルを扱う従来の全銀手順から、可変長ファイルに対応した JX 手順へと変更することが必要になります。

外国送金を行っている企業は ISO20022 への対応に、既存システムの改修など多くの時間とコストがかかりますが、外国送金オプションを利用することで ISO20022 への移行に伴うお客様の負担を軽減します。詳細については[外国送金オプション](#)をご参照ください。

■eCubenet データ伝送サービス

オーグス総研の eCubenet データ伝送サービスは、業界の EDI 標準から、インターネット標準、製品固有のプロトコルまで、お客様の EDI 環境および取引先の通信要件に合わせたセキュアなネットワークを提供するサービスです。

本サービスの詳細は、[eCubenet「データ伝送サービス」](#)をご参照ください。

◆株式会社オーグス総研について <https://www.ogis-ri.co.jp/>

本社：大阪市西区千代崎3丁目南2番37号

設立：1983年

資本金：4.4億円（大阪ガス株式会社100%出資）

業務概要：オープンソースソフトウェアの活用・オブジェクト指向技術・クラウドサービス関連技術・アジャイル開発技術・データセンター運用やこれをベースにしたクラウドサービス・エンドポイントを中心としたセキュリティなど。

大阪ガスの基幹システム開発から運用までを一貫して提供しており、他にも製造・金融・公益など全国で幅広い実績を有しています。近年ではデータ分析、IoT およびルールモデリングを重視したルールベース開発（BRMS）に注力する他、デザイン思考やアジャイル開発のノウハウを活かした DX 支援コンサルティング、行動観察を活用した新価値創造コンサルティングを提供しています。

製品およびサービス：システム開発、IT 基盤運用・保守、セキュリティ、基幹業務、分析業務、コンサルティング、研修・トレーニング。

◆本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

株式会社オーグス総研 プラットフォームサービス本部 EDI サービス部 ビジネス企画チーム

お問い合わせ先: <https://www.ogis-ri.co.jp/forms/inqform.html?artid=7871>

* 本プレスリリースに記載されている内容は、予告なしに変更する場合があります。

* その他、本プレスリリースに記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。